

ICOM

SATELLITE PTT IC-SAT100

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページにアクセスして、[フリーワード検索]欄に製品名を入力すると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社 取扱説明書 ダウンロード
http://www.icom.co.jp/support/download/manual/

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社 高品質がテーマです。
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7518H-1J-1 Printed in Japan
201905 © 2019 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

安全上のご注意

- **使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。**
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが」想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器)

△危険

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
 - 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。

△警告

- **分解、改造しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
- **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
 - ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

△注意

- **直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。**
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- **－30℃～＋60℃以外の環境では使用しないでください。**
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

△警告

- **アンテナを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。**
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- **アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。**
感電、故障の原因になります。
- **大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。**
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

- **航空機内や病院など、使用を禁止されている区域では電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に悪影響を与える原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

△注意

- **アンテナに無理な力を加えないでください。**
変形や破損の原因になることがあります。
- **針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。**
故障の原因になることがあります。
- **付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。**
故障の原因になることがあります。
- **テレビやラジオの近くで送信しないでください。また、アンテナから人体までの距離が20cm以上になるようにして送信してください。**
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

■ 充電器

△警告

- **次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。**
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△注意

- **次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。**
 - 10℃～45℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

△危険

- **次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。**
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- **火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。**
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- **火の中に投入したり、加熱したりしないでください。**
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- **コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつづけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

△警告

- **使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。**
使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- **指定の充電時間以上、充電しないでください。**
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- **満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。**
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- **バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。**
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- **テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。**
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- **バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。**
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

△注意

- **次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**

- バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、 (残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月：－20～＋50℃ 約3ヵ月：－20～＋40℃
約1年：－20～＋20℃
- 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
- 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命について

- バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
- **発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。**
- 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
- 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くても5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの膨らみについて

- 性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。
 - ひんぱんに充電している
 - 満充電直後でも再充電している
 - 高温な場所で使用・保管している
 - 本書で説明する充電方法と異なる
- バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

使用後はリサイクルへ



この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ http://www.jbrc.com/

電磁ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

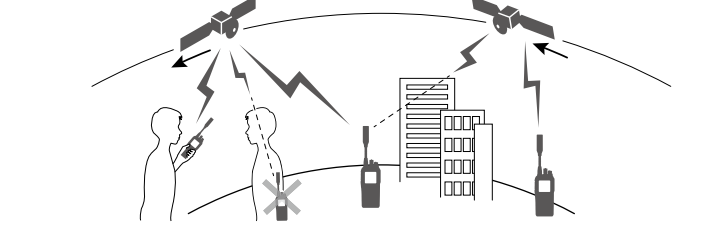
- LED照明器具
- 電磁調理器
- 給湯器
- 自動車に搭載された電子機器
- 太陽光発電装置

電波法上のご注意

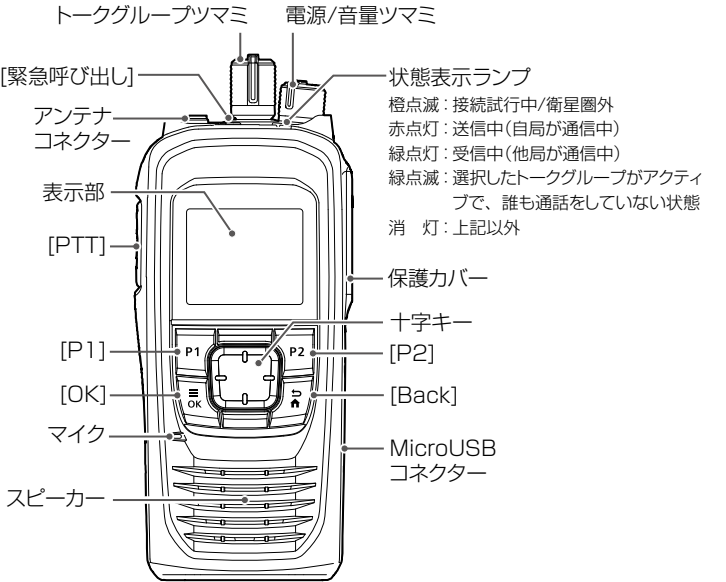
- 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。その証として、技適マークが本製品の認証画面([OK]>情報>認証)に表示されています。分解や改造をしないでください。
- 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。
付属品、または別売品アンテナを加工して使用したり、弊社指定以外のアンテナを使用したりすると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。

運用時のご注意

- 同一軌道を周回する複数の衛星を利用していますが、衛星の位置や障害物の有無によっては、送受信できないことがあります。通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 無線機を腰に装着したり、信号が遮断されるようなものでアンテナを覆わないでください。

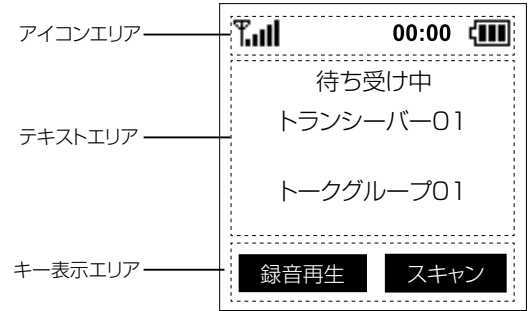


各部の名称



■ 表示部

本製品は、中国語、英語、フランス語、日本語、スペイン語表示に対応しています。
必要に応じて、メニュー画面で言語を変更してください。
([OK] > 表示 > 言語)



アイコンエリア

無線機の状態や、設定している機能をアイコンで表示します。

	受信している電波の強さ(目安)を6段階で表示 ※圏外の場合は、だけが表示されます。
	点灯：振動機能設定時
	：Bluetooth機能ON時、：Bluetooth接続中
	点灯：監視機能設定時
	点灯：ロック機能動作中
	点滅：メッセージ受信時、点灯：未読メッセージあり
	点灯：録音機能設定時
	点灯：USBケーブル接続時
	点灯：時刻表示機能設定時
	電池の残量(目安)を4段階で表示 十分、残量あり、 (早めに充電)、 残量なし(要充電)
	点灯：USB充電時

テキストエリア

無線機の状態や名称、選択しているトークグループなどが表示されます。

状態	説明
待ち受け中	選択したトークグループがアクティブではない状態
オープン	選択したトークグループがアクティブで、誰も通話をしていない状態
リクエスト中	システムに送信要求を送信している状態
音声送信中	選択したトークグループに送信している状態
音声受信	選択したトークグループから受信している状態
スキャン中	割り当てされているトークグループをすべてスキャン中

キー表示エリア

[P1]、[P2]で操作できる機能が表示されます。(例：[P1] TGリスト、[P2] スキャン)
必要に応じて、メニュー画面で機能を変更してください。
([OK] > 機能 > キー設定)

基本操作

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、電源が入ります。
※衛星への接続(登録)が完了すると、自局の端末名とトークグループの名称が表示されます。
※反時計方向に回すと、電源が切れます。

2. トークグループを選択する

トークグループツマミを回して、トークグループを選択します。

3. 呼び出しをする(送信する)

相手と同じトークグループに合わせてから、「送信中」が表示されるまで、[PTT]を押します。
「送信中」が表示されたら、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。
※システムから許可された時間まで連続して送信できます。

4. 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、「受信」と相手局の名称が表示され、状態表示ランプが緑色に点灯します。

5. 通話をつづける

※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

メニュー画面による機能設定

設定内容を変更するとき

- [OK]を短く押します。
 - メニュー画面が表示されます。
- 十字キーを押して、設定する項目を選択します。
 - ※メニューを選択するときは上下キー、階層を移動するときは左右キーを押してください。
- 上下キーを押して、変更する設定を選択します。
- [OK]を短く押します。
 - 変更した内容が確定します。
- [Back]を長く(約1秒)押します。
 - メニュー画面が解除され、待受画面に戻ります。

メニュー画面一覧

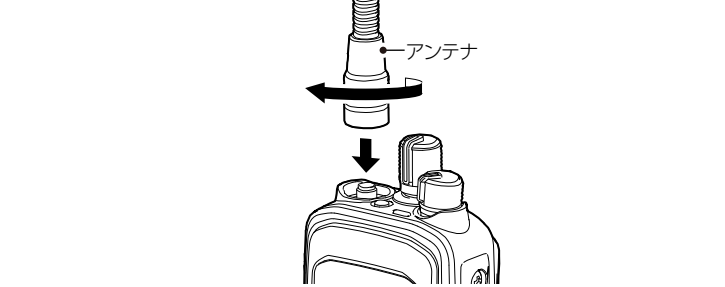
トークグループ	リフレッシュ トークグループリスト
PTTオプション	通話時間表示 マイクゲイン 通話録音 受信メッセージ メッセージリスト 位置情報共有 位置情報タイプ 距離フォーマット
Bluetooth	Bluetoothオン/オフ デバイスリスト Bluetoothリセット 自動接続 オーディオ選択 Bluetooth情報 キービープ (VS3) パワーセーブ (VS3) PTTビープ (VS3) ワンタッチPTT ペアリング待ち
機能	自動キーロック キー設定 PCコマンド
時計	時計表示 時刻形式 タイムゾーン選択 サマータイム
表示	バックライト コントラスト 言語
ビープ	システムビープレベル 緊急ビープレベル キービープレベル 受信ビープレベル オープニングビープレベル

振動	システム振動 緊急時振動 操作時振動 受信時振動 起動時振動
情報	バッテリー情報 RSSI 現在位置 ファームウェア情報 サテライト情報 認証

付属品

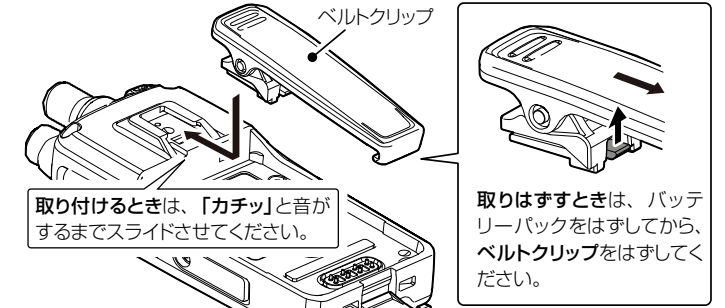
- ☐ アンテナ(FA-S102U)
- ☐ ベルトクリップ(MBB-5)
- ☐ バッテリーパック(BP-300)
- ☐ ACアダプター(BC-242)
- ☐ 充電器(BC-241)
- ☐ ご使用になる前に(本書)
- ☐ 保証書

■ アンテナの取り付け



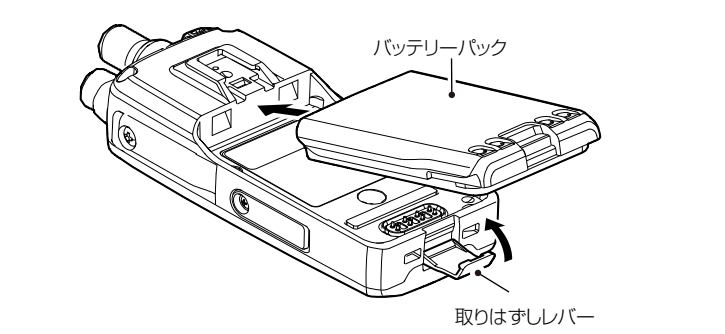
■ ベルトクリップの取り付けと取りはずし

バッテリーパックを本体から取りはずした状態で、ベルトクリップを着脱してください。
※バッテリーパックが装着されていると、ベルトクリップを着脱できません。



■ バッテリーパックの取り付け

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。



△注意

しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。
本製品の電源を切った状態でも、常に微量の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になります。

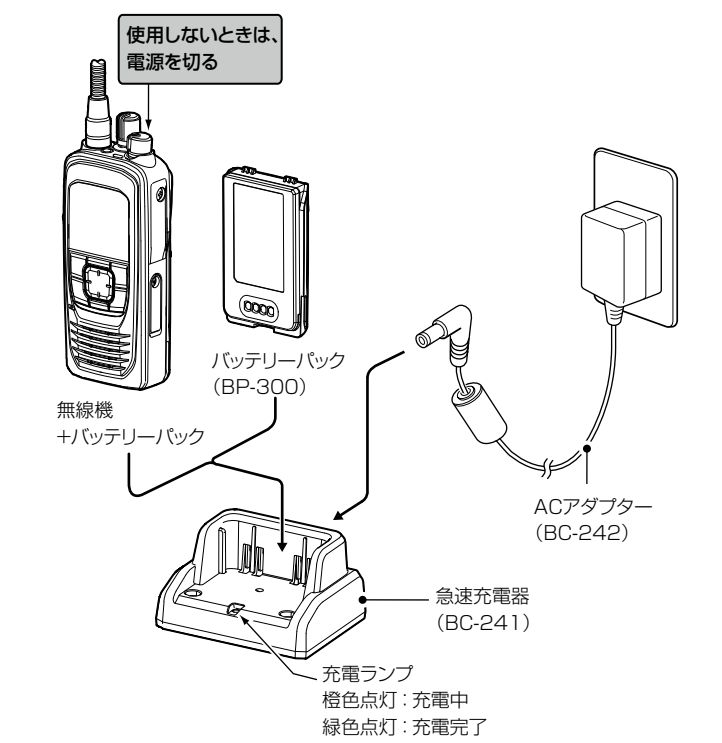
■ 充電時間と運用時間の目安

充電時間 約3.1時間 (BC-241使用時)
運用時間 約14.5時間 (送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用)
※ご使用になる環境によって、運用時間や充電時間が異なります。
※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

※電源を入れたまま充電すると、充電が完了するまでの時間が長くなります。



△危険

- ◎ 充電するとき、必ず本製品に対応した充電器(弊社ホームページに掲載)をご使用ください。
- ◎ 「安全上のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

ご参考

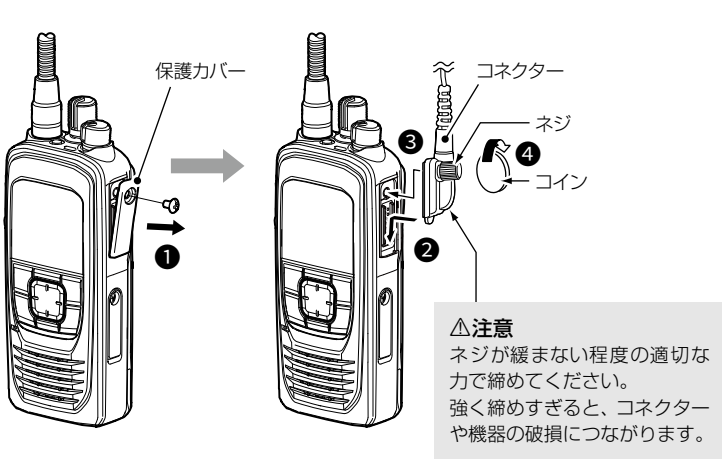
- ◎ 充電器の底面にあるスイッチを「ON」にすると、満充電時の容量を抑え、電池の寿命を延ばせます。ただし、無線機を使用できる時間は短くなりますので、ご注意ください。
- ◎ 本製品のMicroUSBコネクターを利用しても充電できますが、充電器より充電が完了するまでの時間が長くなります。

別売品

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <http://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

■ スピーカーマイクロホンなどの接続

スピーカーマイクロホンやヘッドセットなどを接続するときは、無線機の電源を切ってから、図のように保護カバーを取りはずし、別売品のコネクターを接続してください。
※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。



△注意

ネジが緩まない程度の適切な力で締めてください。
強く締めすぎると、コネクターや機器の破損につながります。